

リスクコミュニケーションにおける誤解

- ① 化学物質は危険なものと安全なものに二分される。
- ② 化学物質のリスクはゼロにできる。
- ③ 大きなマスコミの情報は信頼できる。
- ④ 化学物質のリスクについては、科学的にかなり解明されている。
- ⑤ 学者は、客観的にリスクを判断している。

出典：浦野紘平「リスクコミュニケーション手法ガイド」

リスクコミュニケーションにおける誤解

- ⑥ 一般市民は科学的なリスクを理解できない。
- ⑦ 情報は出すと無用の不安を招く。
- ⑧ たくさんの情報を提供すれば理解が得られる。
- ⑨ 詳しく説明すれば理解や合意が得られる。
- ⑩ 情報提供や説明会、意見公募などがリスクコミュニケーションである。

出典：浦野紘平「リスクコミュニケーション手法ガイド」